



木童通信 vol.20

平成21年4月発行

木童 東京ショールーム

open 月～金 10:00-18:00 土 11:00-17:00
close 日・祝 (事前予約いただければ日祝の見学も可能です)

東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティ1F

TEL:03-5358-5125 FAX:03-5358-5126

URL:http://www.kodoh.co.jp E-mail:Tokyo@kodoh.co.jp

★SUMIKA プロジェクトを見に行ってきました

昨年末に完成した、宇都宮の話題スポット「SUMIKAプロジェクト」。総合プロデュースを伊東豊雄氏が手がけ、藤森照信氏・藤本壮介氏・西沢大良氏が参画して、近未来の住宅を考えるというコンセプトでそれぞれの形の家を具現化しています。雑誌『新建築』や『CASA』でも特集されたのでご存知の方も多いのではないのでしょうか。日頃“木の家”ばかりを見ている木童には、新鮮な見学会でした。



<伊東氏のSUMIKAパビリオン>
無限に続く幾何学模様...面白い構造です。集成材の構造体を見ながら、これを無垢でやる方法はないかと無謀な夢を抱きました。



<藤森氏のコールハウス>
自然の材料を自然体に使った藤森氏の家は、一番親しみのある造り。内装の床は乱巾のくりを朝鮮張り。材料の無駄を出さない究極の方法。デッキはくりの挽き放し材。豪快だけどそこが良い!



<藤本氏のHouse before House>
迷路のように楽しい家。階段の先に何があるのか...探検気分。無垢(パイン)の床が、真っ白で無機質な空間に柔らかさを添えているように感じました。



<西沢氏の宇都宮のハウス>
大空間!と思ったら柱がないという変わった構造の家。コンクリートと木と芝生の床の対比も面白かった。木の部分には実は木童の道産カバ(巾75×厚15mm)を使っています。

★木童流家造りの流れ ~木童に相談に来られた3人の住まい手さんの場合~

【Iさんの場合】 2006年9月相談
<希望>●国産の優良な木で家を建てたい●予算は2500万円で、施主の1さんとご両親の3人の住まい
<紹介>こだわりがあり勉強家のIさんには、どんな質問にも丁寧に答える植本計画デザインの植本さんを紹介。建設はIさんが見つけて来た郡山の樽川技建さん。とっても紳士な会社です

【Tさんの場合】 2007年7月相談
<希望>●厚板の床材を使いたい●筋の通った家造りをしたい●限度はあるが必要な金額を出す(50坪弱で4000万円)と言われた50代のご夫婦(十犬)
<紹介>控えめな奥様と話し合えるよう、穏やかな人柄から、設計はアトリエ海の中村さんを、建築は総合建設の久保さんをご紹介します。

【Nさんの場合】 2008年2月相談
<希望>●ジャスト1000万円で終の住処を→20坪程度の家を提案
<紹介>予算管理の上手な設計士アーキネットデザインの市川さんに確認し、ご紹介。建築は現場に近く、相談にも乗ってくれそうなスズユウエ務店の鈴木さんに。無駄を省くため釘一本に至るまで皆で知恵を絞って考えました。

木童は施主に設計・工務店を紹介する前に何度か話し合いをします。コンペではなく、家に対する住まい手の想いと相性を考えて紹介しています。もちろん、紹介者の責任として随時打合せに参加して、内容を確認、把握をし、必要ならば助言もさせていただきます。

←施主・設計・工務店・木童の打合せ 施主・設計・木童での床材確認→

そしてそれぞれの家造りがスタートしました



プロット工場で材確認 上棟式直後の家

Iさんの2年越しの想いがいよいよ形に。構造材の産地・宮崎へ。設計士と工務店も同行し、現地で打合せも行いました。家の木材は桧と杉 3産地+能登ヒバ+南波から松を使用しています。



工場視察 構造図

今回も材の確認と加工の打合せの為に、産地へ。作り手と生産者が会うという事ですが皆のがんばり度が上がるような気がします。木材は地松・杉・桧・から松の四種類を適材適所で使用しました。

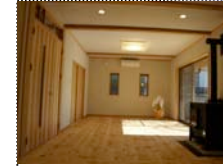


上棟!大きな23坪の家 皆で三和土を混ぜる

今回は、木部の自然塗料と三和土と漆喰塗りが自主工事です。その内、三和土は木童も参加して、がんばりました。土台は桧、杉は2産地、から松と能登ヒバを使用しました。外壁は漆喰と焼き杉です。



杉の節有り材をふんだんに使った家なので、節の有様には気を使いました。見える杉材は主張しすぎない節有材を選ぶ事の出来る産地からお届けしました。仮並べをして張ってくれた大工さんにも感謝です。着工2008年5月 竣工2008年11月



寒さを気にしていた住まい手ですが、御堂松の床材が冷たくない事と、快適さに驚いてくれました。特に床材を選ばないペレットストーブは、炎の揺らぎと安らぎも合わせて家の顔になっています。着工2008年6月 竣工2008年12月



23坪 1057万円の家では削ぎ落とす大変さと頑張れば出来る事を学びました。もちろん基本となる優良な国産材は削らず、2000万円以上の家に感じられる仕上がりに皆が満足できる家になりました。着工2008年10月 竣工2009年2月

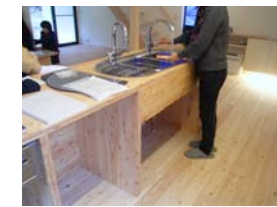
スーパーサンクス (敬称略左の物件より): 植本計画デザイン・樽川技建、アトリエ海・総合建設、アーキネットデザイン・スズユウエ務店。そして一緒に頑張った住まい手の皆さん、ご苦労様でした&有り難うございました。

★木製キッチンはいかがですか?

キッチンのショールームに行くと、目移りするくらいに高機能でカラフルなキッチンが目につきます。でも、意外と木製のキッチンは見かけません...。それなら!ご自身で木のキッチンをオーダーしてみませんか?ここで、“木の家”に似合う素敵なキッチンをいくつか紹介します。



M邸
くりの1枚板のカウンター(約20万円)+くり古材の脚(約8,000円/本)+漆喰+タイルを合わせたオリジナルキッチン。施主がデザイン。



T邸
天板まで、からパネルを利用した設計士デザインのオリジナルキッチン。床や作り付け家具との相性も抜群でした(設計:A&A セントラル)



F邸
ステンレスに桧の無垢板(柿しぶ塗装)を組み合わせたキッチン、高齢の女性1人住まいの家のため、足下は車椅子対応にもなるよう空間を設けてあります。



H邸
からパネルを利用した、収納たっぷりのアイランド型キッチン。天板はステンレス、オープンも付いています。レンジフードは舶来品とのこと。

(設計:福永洋一建築設計事務所)

(設計:早川建築設計事務所)

金額を押し上げるのは豪華な設備という場合が多いキッチン。レンジフードや水栓金具等こだわりだしたらキリがありませんが、以前にごくごく普通の設備1式にシンプルな木の箱+棚というキッチンを60万円ほどでご提案したこともあります。望みを形にする事は手間もかかりますが、夢は諦めずに伝えてみましょう!

木童NEWSラインナップ

セレクト見学会のご案内

■木童の小さな木の家完成見学会...適材適所で国産材と漆喰を使いながら、究極のローコスト(23坪、1057万円)を実現した住宅です。

設計:アーキネットデザイン 施工:スズユウエ務店

○日時:4/12(日) 13:00~16:00 ○場所:千葉県いすみ市 JR外房線大原駅よりタクシーで10分

○使用木材:宮崎県産オビ赤杉(構造材)、徳島県産相生杉(床・階段・外壁)、長野県産南波から松(床) 石川県産能登ヒバ(浴室)

■コッパーハウス完成見学会...SUMIKAプロジェクトとはひと味違った藤森氏の住宅です。

設計:藤森照信氏+大嶋アトリエ 施工:宮嶋工務店

○日時:4/19(日) 13:00~15:00 ○場所:JR中央線国分寺駅より徒歩約10分

○使用木材:宮崎県産オビ赤杉、地松タイコ土台梁、桧土台(構造材)、からパネル(床・壁・階段)、石川県産能登ヒバ(浴室)、源平パネル(建具)、道産カバ(床) その他

※見学会は予約制です。お申し込み頂いた方に、案内図をお知らせします

企画展のご案内

■第63回企画展 4/6(月)~25(土)「キッチンノカタチ」展 STUDIO KAZ

デザインされたキッチンの数々をご覧ください

■第64回企画展 5/11(木)~30(土)「木童の新作ローコスト建具発表会(仮)」

*木童の階段&建具プロジェクト進行中。オリジナル建具(試作品)がショールームに。

木童の「建具&階段カタログ」完成予定は5月末です。ローコストでも使える無垢の建具&階段にご期待下さい

■木童通信をHPよりダウンロードできるようになりました。バックナンバーをご希望の方はこちらをご利用下さい。